

3面からのつづき

### 大阪府吹田市支部

## 交通安全祈願千羽鶴を株式会社ムロオ様に贈呈

令和元年度の交通安全祈願千羽鶴は、十月八日(火)十一時より、吹田市岸部中二丁目にある株式会社ムロオ関西地区大阪支社様に贈呈しました。

株式会社ムロオは、広島県呉市に本社を置き、北海道から鹿児島県まで全国七十四カ所を拠点に展開されている運輸会社です。チルド輸送のパイオニアとして、国内最大規模の低温物流を行っており、迅速に「安全・確実・安全への取り組みを実践されており、安全性優良事業所に認定されてG

マークを取得され、安全教育に力を入れておられます。

当日は吹田市支部から永田昌範支部長、西川俊孝副支部長、宮浦ミネ子会計、柴田佐智子監事、砂川敬子・田中恵美子理事、林泰史事務局局長と、紹介者の小川章正会員の八名が出席し、支部長あいさつの後、株式会社ムロオ大阪支店所長代理の木嶋康弘様に交通安全祈願千羽鶴を贈呈しました。木嶋様からは、安全の取り組みについてお話しいただき、お礼と交通安全の誓いが述べられました。



### 福井県支部

## 地域の宝・少年を非行から守ろう パネル展の開催

九月二十二日(日)、福井市和田地区の「ふれあいまつり」において少年非行防止パネル展を開催しました。



今年の大勢が参加し、今年も大勢の住民が集まるこのまつりに善行活動を普及しようと恒例の少年非行防止パネル展を開催しました。

今年のテーマは、最近話題になってくる少年の「SNS問題」です。SNSは、インターネットを通じて同じ趣味やスポーツの仲間と交流ができて若者の間では流行っていますが、中には誹謗中傷やいじめ、性的被害に巻き込まれるというケースもあります。そのためインターネットを利用する場合には注意すること、またパネル展示とパンフレットの配布を行いました。

# ふる里白慢

## 東京都小平支部

### 市内一周グリーンロード21キロ

小平市は都心から二十六キロ。武蔵野台地上にあります。玉川上水、野火止用水、狭山境緑道、都立小金井公園を結ぶ小平をぐるりと一周する小緑の散歩道(水と緑の散歩道)に囲まれ、美しい日本の歩きやすくなる道もなっております。水の



野火止の雑木林

道、緑の道、風の色が見えてくる散歩道として、春夏秋冬、それぞれの自然の息吹を感じさせてくれる小平市民の「宝もの」です。春にはコナラやクヌギ、ケヤキの芽吹きが始まり、日ごとにその葉を大きく茂らせ、薄緑色の若葉が美しく、また、華やかな桜のトンネルも出現します。そして夏にはその木々や小動物に格好な日陰を提供し、ひんやりとした潤いの場となり、秋には武蔵野の風景を色濃く残す雑木林では



じょうすいこぼし

紅葉、枯れ葉のじゅうたんが敷き詰められます。冬になると葉を落とした木々は寒風に揺られていますが、雪化粧をしたまじろは春とは違った表情を見せます。子どもたちがふわふわとした真つがら歩く姿も見られます。



あじさい公園



都立小金井公園

ツ施設が集まる「小平中央公園」、ゴミ焼却施設で発生した熱と井戸水を使った「こもれびの足湯」などです。まさに、この「小平一周のグリーンロード」は一年を通じて市民の憩いの場、「ふれあいの場」、「健康づくりの場」となっております。一度訪れてみてください。お待ちしております。

### 大分県大分支部

## 選考委員会の開催

令和元年七月二十五日、桃園校区公民館において「秋季善行表彰推薦書」の選考を行った。大分支部では七名の選考委員を指名し、その任に



ナではパネルの前で支部会員がユニホームのベストを着用して説明を行いました。日本善行会のパンフレット、福井県支部記名入りのボールペン、非行防止連鶴などを配ってインターネット犯罪の実態とその防止を訴えました。

中学生とその母親は「中学生になってスマホでSNSを始めたようだが、知らないうちに犯罪に巻き込まれると恐ろしい気がします。家族全員で気をつけなければいけない」と話して、「我々の活動の趣旨を一日でした。」

当っています。主に書類内容の不備をチェックする事が目的です。今日は日中三十三度の炎天下中、全員の出席を頂き会議を開きました。本年度も多くの皆様の推薦書が届いており、大分支部では過去にない多さとなりました。これも調査委員皆さんのご努力と、一般の方々の「日本善行会」に対する理解の深まりを感じます。大分支部では支部長を中心に、諸問題に対し共通認識の場を持ち、些細な事も議題として取り上げます。また、運営は全会員一人一役の考えの下、個人に負担が偏る事無く、横のつながりを大切に楽しい支部運営に心掛けています。

## 善行川柳

選者 東 逸平

○夢余生 米寿卒寿の 笑い皺

北海道 齊藤 勉

評/良いですね。老後を達観した人の心のゆとりが伝わります。また、言うに言えない人生の哀感が感じられますね。

○ブータンの 王子と笑む 悠仁さま

東京都 神鳥谷知己

評/インドとチベットの間にある王国で、標高七千メートルのヒマラヤ山脈を心の底から仰ぎ見ながら、王子さまと悠仁さまの対話が聞こえてきます。

○天の声 心で聞いて ボランティア

大分県 佐藤 満洋

評/もっと具体的に作句してもいいかな。思い切った朝日新聞のコラム欄「天声人語」の語句を頂いて「天声人語 わたしを連れ出す ボランティア」はどうでしょうか。

《この一日が こんなに良いと 気付いた日》

評/台風十五号、十九号、十月二十五日の豪雨で家を流された人達を支援するボランティア活動で、汗を拭いた直後に書かれたというこの爽やかな気持ちを伝えていた記事がある新聞で読みました。善行川柳も素晴らしい作品が多いのですが、渦を巻いて流れる世上の痛ましい事柄を川柳の表現にどうやったらもつていけるか、取り入れる事が出来るか、踏み込んだ心情の表現を模索するのは、新年の課題の一つにしましようか。

## 入会のおさそい

一般社団法人日本善行会では、善行の表彰並びに善行精神の普及と実践を通じて、明るく住みよい社会環境づくりを努めております。活動をご支援いただくために、広く会員をおさそい下さい。

### 会員の種類

- ①普通会員(正会員)
  - 個人 年額 五千元
  - 法人 年額 一万円
- ②特別会員(正会員)
  - 個人 年額 一万円
  - 法人 年額 三万円
- ③賛助会員
  - 個人 年額 千円以上

※明るいニュース年間購読料五百円含む

## 訂正とお詫び

五月号二面の支部だよりの香川県支部の文中で、①市長表敬訪問者として、林教善氏と記載されておりましたが、大林教善氏の誤りでした。また、十月号の善行川柳で、大分県丸野忠義氏と記載されておりましたが、佐藤満洋氏の誤りでした。大林教善様、佐藤満洋様、丸野忠義様には深くお詫びを申し上げます。関係者の皆様にご迷惑をおかけしました事を訂正を申し上げます。